



語学力不問、グローバルマインドセット「やりぬく力」を鍛える ベトナムで日系企業の課題解決を目指す海外インターンシップ

実践型海外インターンシップスタート

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、言葉や文化の異なる場所でも成果を出せるグローバルマインドセット「やりぬく力」を育成しようと、ベトナムに進出している日系企業と提携し、企業が抱える課題を学生自らが現地調査のうえ解決策を提案する全国でも珍しい産学連携による実践型海外インターンシップをスタートさせました。

実践型海外インターンシップとは

従来の就労体験やケーススタディ主体のものとは異なり、実際にビジネスとして海外展開をしている日系企業の現地拠点へ赴きます。そこで課題となっているテーマについて学生自らが調査を行い、解決策を企業に提案するという本学独自のグローバル人材育成プログラムです。この度、全学生から参加を募ったところ、定員枠 20 名に対し 40 名もの学生が集まり、選考の結果 1 年生から 4 年生の 20 名が選出されました。彼らは異国の地で短期間のうちに成果を出すという難題に立ち向かいます。

舞台はベトナム

実施にあたり、外食産業をメインとする大阪の会社と提携しました。8 月にベトナムのホーチミン市に新規出店する予定で、日本独自の料理をいかに現地に浸透させるかが課題だということです。

インターンシップでは 2 週間の日程でベトナムを訪問し、現地店舗の視察や利用客へのアンケート調査などを通じ、メニューの新規提案やベトナム用 CM を制作するというミッションに取り組みます。学生たちは言葉も文化も異なる場所で、ミッション達成に向けて悪戦苦闘する経験を通し、成果を出すうえで必要なグローバルマインドセット「やりぬく力」の重要性を学びます。

6月24日には企業で事前学習

ベトナム渡航前の準備として、6月24日、インターンシップ提携先企業である大阪市の会社を訪れ、海外事業責任者からベトナム進出のねらいや現地での課題などについてヒアリング調査を行いました。



6月24日の事前学習の様子①



6月24日の事前学習の様子②

【実践型海外インターンシップ概要】

日 程：2017年8月20日～9月3日 この内、ベトナム国内は14日間
内 容：ベトナム・ホーチミン市の日本食店の視察、来客調査、CM制作等
現地の大学生との交流も予定。
参加学生：全学部(6学部)から応募のあった1年生～4年生までの20名

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立